

戦 評

大会名 平成20年度天皇杯皇后杯全日本バレーボール選手権大会 県予選会

男子・女子 準決勝・決勝

会場名：盛岡大学体育館

主 審：小野寺 太

副 審：米 田 寿

試合結果

盛岡市立高校 2 $\left\{ \begin{array}{l} 25 - 22 \\ 23 - 25 \\ 25 - 19 \end{array} \right\}$ 1 高田高校

戦 評 試合時間 時間 分

高校生対決となった女子の決勝戦は市立のサーブから始まった。攻めのサーブで

高田のレシーブを崩した市立は、セッター小田の巧みなトスワークとレフト初貝・センター

佐々木のスパイクで勢いに乗り1セット目を先取する。このままで終われない高田は、

エース戸羽(智)・レフト佐々木の速い攻撃でリズムを取り戻しフルセットに持ち込む。

1点を争う接戦となった3セット目は、盛岡市立がレシーブの粘りとレフト初貝・ライト

武田の活躍により中盤から走り出し、見事初優勝を飾った。

7～10行にまとめること。

戦評者：紺野美穂

岩手県バレーボール協会 広報委員会